

自己評価報告書

(令和3年度)

令和4年2月

学校法人 さくら学園

慈恵歯科医療ファッション専門学校

I 現況

- 1 学校名 慈恵歯科医療ファッション専門学校
- 2 所在地 〒446-0037 安城市相生町204
- 3 電話番号 TEL 0566-76-5288 FAX 0566-76-5212
https://sakura-g.ac.jp

4 沿革

- 1947(昭和22)年 開院「古井さくら和裁学院」安城市古井町桜塚
- 1957(昭和32)年 各種学校「安城さくら家政学院」認可 洋裁科設置
- 1962(昭和37)年 さくら学園法人格取得
- 1972(昭和46)年 「安城女子専門職業学校」設置認可
- 1975(昭和50)年 「安城女子専門職業学校」を「安城女子専門学校」に校名変更
- 1987(昭和62)年 学校法人文化学園「文化服装学院」連鎖校として認可
- 1996(平成8)年 「専門学校慈恵きものファッションカレッジ」に校名変更
- 1998(平成10)年 「ファッションベーシック科」「ファッションテクニカル科」に科名変更
- 2013(平成25)年 「慈恵医療福祉ファッション専門学校」に校名変更
「医療事務学科」新設
- 2014(平成26)年 さくらホール完成
- 2014(平成26)年 「慈恵歯科医療ファッション専門学校」に校名変更
「歯科衛生士学科」新設

5 学科と学生数（令和3年5月1日現在）

	1年	2年	3年	合計
ファッションベーシック学科	16	14		30
ファッションテクニカル学科	1	0		1
医療事務学科	9	14		23
歯科衛生士学科	36	30	26	92
合計	62	58	26	146

6 教職員数

理事長	岩瀬せつ子			
校長	大石 純男			
顧問	中村 洋			
教員	10名			
非常勤講師	71名			
事務職員	2名	合計		83名

7 施設概要

学科教室	7	被服実習室	1	相互実習室	1
実験実習室	1	学生ホール	2	情報処理室	1
器具倉庫	3	物品倉庫	5	体育館	1
図書室	2	更衣室	2	保健室	2
職員室	2				

II 評価基本方針

1 評価の目的

- ・心豊かで自立心に富み、社会貢献ができる人材を育成する。
- ・徹底した実技指導をして技術を習得させ、質の高い職業教育ができるよう、学校運営を改善するために行う。

2 評価の基準

- ・策定した教育目標や計画に照らし、下記の4段階で評価する。
適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1
- ・学内アンケート調査を行う。

3 評価の公表

学校評価の結果は、「学校ホームページ」に公開する。

4 評価結果の活用

- ・評価委員会において、課題の洗い出しを行い次年度に向け目標を設定する。
- ・全教職員共通認識のもと、教務・学生指導・校務の分業単位で改善に取り組む。

Ⅲ 本校の教育活動と自己評価

1 学校の教育目標

本校は、「心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材を育成する」という教育方針に基づいて教育を行っている。具体的な教育目標として次の2項目を掲げている。

- (1) 人として生きていくための人格形成の場として、本校の独自科目である「ボランティア」の実践を通してコミュニケーション能力を培い、自らを律し向上心をもって明るく正しく生きる道を学ぶための教育支援をする。
- (2) 本校の3つの専門学科(ファッション学科、医療事務学科、歯科衛生士学科)における専門的な技術が、生涯を生きる支えや心の糧となるように、それぞれの学生の実態に応じた学習支援をする。

2 本年度の重点目標

本学園70年の歴史と伝統を守りながら、時代の流れや社会のニーズに対応した改革心を持ち、社会に貢献できる人材の育成に努める。特に、校訓「誠心」「感謝」に込められた人^{まごころ}を愛する心・思いやりの心を根底において教育支援をする。

Ⅳ 評価項目の達成及び取組状況

<教育理念・目標>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育その他の教育指導等の特色が周知されているか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が策定されているか	4	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・職員・非常勤講師等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

- ・前項1、2に基づき、教職員全員が共通理解の下に実践する。

②今後の改善方策

- ・本校が目指す教育方針を、学生及び保護者の意識や価値観を尊重しながらできるだけ丁寧に周知していく。

③特記事項

- ・学校の教育方針や学習内容・特色などは、入学前に学校説明会を開催して関係資料を掲載した「学生便覧」を配付し、学生・保護者に周知している。

<学校運営>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

- ・職員室の I T 関連機器が校内 LAN を含めて、システム化が十分になされていない。

②今後の改善方策

- ・校内 LAN を早急に整備することにとりかかる。
- ・勤務体制の見直しにより、振替休日が取れるように改善する。

③特記事項

- ・情報の共有化と守秘義務の遵守体制を構築している。
- ・オンライン授業を zoom や teams のソフトを用いて遠隔授業を行った。

<教育活動>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針の周知を図っているか（学生・教職員・HPによる外部への周知等）	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設、業界団体、卒業生等の意見を聞く機会を設け、教育課程を編成しているか。	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保をしているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

- ・職員の能力開発のための研修機会・研修時間の確保

②今後の改善方策

- ・教職員自らの専門分野等の技術向上を図る。
- ・外部関係者からの評価をより多く取り入れる。
- ・教職員がアクティブラーニング導入の必要性を周知する。

③特記事項

- ・人格形成の場として、毎日「ST」・「清掃活動」を行い、学生の自覚と責任を持たせるような機会をつくり、心豊かな社会人になるように支援を行っている。
- ・本校は資格取得を促進し、就職につながる検定等の資格取得に取り組ませている。
- ・医療事務学科は介護職員初任者研修を、歯科衛生士学科は介護福祉士実務者研修を修得している。
- ・ライセンス取得講座では、資格取得や検定試験に向けての取り組みを行っている。
- ・地域イベントでのボランティア活動に参加し、日頃の学習内容の実践の場として、学生一人一人の自己有用感を高めている。
- ・医療事務学科の病院実習は、新型コロナウイルスの感染防止のため、Ⅱ期・Ⅲ期実習を8月中旬～9月上旬にかけて、まとめて実施した。一部学生は、12月下旬～1月上旬に実施した。
- ・ファッション学科に留学生8名が入学し、日本語能力試験(JLPT)でN2・N3が取れるよう指導を行っている。
- ・全国歯科衛生士教育協議会主催の歯科衛生士専任教員講習会で研修している。

<学生指導等>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・学生の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある学生等への支援）が行われているか	4	3	2	1
・学生・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

- ・成績不振の学生に対する生活習慣の乱れや学習習慣の改善への取組を図る。

- ・留学生の健康管理、寮の衛生面での管理を強化する必要がある（コロナ感染防止対策においては、特に指導の徹底が必要である）。
- ・保護者との連携をより強化する必要がある。

②今後の改善方策

- ・個別対応として、分かりやすくかみ砕いた説明し、理解できるように対応する。
- ・留学生との個別懇談及び必要であれば寮を訪問し、生活・健康状況を確認し指導する。
- ・家庭との連絡を一層密に行い、必要に応じて家庭連絡・訪問を行う。

③特記事項

- ・学生からの要望・不満等をアンケートで聴取し、改善に生かしている。
- ・4月上旬から対面授業を中心として行い、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、消毒・換気を行いながら、学生の意欲維持と技術向上を図った。感染者に対しては、自宅でのオンライン授業を行い、必要な授業時数を確保した。
- ・保護者との連絡も密にしており、家庭と学校とが情報を共有し相談活動を充実させることで、学生の健全な育成に努めている。
- ・留学生の寮を確保し、生活面(授業料等の分割納入)やビザ申請等の指導・助言を行った。

<特別活動等>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校行事等を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・保護者会等と連携した活動を推進しているか	4	3	2	1

①課題

- ・学校行事等の充実と指導教員の組織的な協力ができるようにする。

②今後の改善方策

- ・学校行事等での担当者の役割分担を明確化する。

③特記事項

- ・本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、各種イベントが中止となり、学生が関わったボランティア活動時間を半分に減らした。
- ・保護者に戴帽式、学園祭への参観を案内し、学生の活動状況を周知している。

<学修成果>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・進学率や就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

- ・より多くの求人数を確保するため、就職指導（企業斡旋）に取り組む。
- ・就職に有利となる資格取得を奨励し、一般常識の習得を支援する。
- ・個別指導を充実し、長期欠席者や学習意欲欠如による退学者を防ぐよう早期指導を行う。
- ・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握した上での、卒業後のフォローアップ体制を構築する。

②今後の改善方策

- ・卒業生の動向を企業・実習依頼先等の訪問の際、しっかりと把握する。退職している場合は、本人の希望により、関わりを継続しフォローアップする体制を整える。
- ・退学者の理由は、学習意欲の欠如、経済的な理由、家庭の事情、病気治療、不登校など多様である。学生を多面的に理解し、些細な変化も見逃さず、家庭との連絡を一層密にしながら担任と学校全体とで組織的対応をしていく。

③特記事項

- ・就職指導は、学生に対して、卒業生による講話、模擬面接、採用試験対策を実施している。また、HRの時間において、きめ細かな進学・就職指導体制ができている。
- ・検定試験等を受検し、資格取得に取り組んでいる。歯科衛生士国家試験においては4年連続で100%合格をしている。
- ・全学科において、就職率100%で内定をいただいている。

<学生支援>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

- ・保護者の退職等の諸事情によって経済的に修学が困難になった場合、可能な限りの支援策について教員全員が情報共有する。
- ・保健室の環境を整える。
- ・より多くの学生が学校行事等に参加することにより、学生間の連帯感や責任感を育成し、友情を深め、好ましい人間関係の形成と社会性の育成を図る。
- ・卒業生進路のデータベース化を図る。

②今後の改善方策

- ・行政(市町村社会福祉課等)との連携を深め、学生の生活環境の改善を図る。
- ・本年度は新型コロナウイルスの生活支援として給付金申請や食料支援を行った。また、修学支援が必要な学生には給付型奨学金制度を案内し、申請を支援するなど行った。

<教育環境>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1

・学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

- ・インターンシップ等において受け入れ側の事情を考慮した上で学生の安全面などを検討する。
- ・法人内において、幼稚園・保育園・デイサービス・グループホーム等の実習先があるが、さらに踏み込んだ実習内容の整備をする。
- ・避難訓練の内容、回数をマンネリ化させない。
- ・大規模災害への対策を検討する。

②今後の改善方策

- ・地震等災害時の食料品備蓄だけではなく、トイレの確保についても検討する。
- ・消防署と連携した災害訓練を計画し実行する。

③特記事項

- ・Wi-Fi環境を整えたため、コロナ禍であってもリモート授業が実施できた。
- ・各トイレの洋式トイレを保温便座とし、感染予防のため消毒の徹底を図っている。

<学生の受入れ募集>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において教育成果は募集要項等で正確に周知しているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題

- ・学生数減少傾向への対応策を早急に検討する。

②今後の改善方策

- ・ファッション学科での男子学生・留学生の受け入れを開始する。
- ・本校独自の魅力をPRするとともに、前期で体験入学会を増やし、対策講座やプレカレッジなどを行い、学校への適応指導を図った。

③ 特記事項

- ・入学生選考方法の改善を図り、入学生増加につなげている。
- ・施設設備の近代化を図り、魅力的な教育環境の整備をしている。
- ・優秀な教員による、質の高い教育の提供を目指している。
- ・ファッション学科では、本年度は留学生8名（男子4名、女子4名）（全員ネパール籍）を受け入れたが、名古屋市からの通学者が多く、授業時数確保が難しく改善を図った。

< 財 務 >

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

- ・ファッション学科では留学生を受け入れ、女子学生だけでなく、男子学生の更なる受け入れを行うので、文化の違いなどにも十分配慮する必要がある。

②今後の改善方策

- ・備品、消耗品の更新・廃棄を行うよう努める

③特記事項

- ・公認会計士による会計監査、規程に基づいた内部監査を行い、適正に実施されている。
- ・財務情報の報告はホームページで公開している。

<コンプライアンス等>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1

・学校評価の実施と結果の公開はしているか	4	3	2	1
・学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

- ・学生間の SNS の利用により、学校が把握しきれないところで、個人情報(顔写真等)がネット上に流れてしまう事例等を防止する。

②今後の改善方策

- ・SNS 利用等、情報リテラシーの向上及び情報モラルについて、職員間内で確認し、担任より学生へ問題事例等を上げ、周知できるようにする。
- ・学校評価の結果と対策・対応について教職員で情報共有し、自己評価によって明らかとなった改善を必要とする事項に、できることから取り組む。

③特記事項

- ・HR 時間を活用して、学生が社会に出た場合の法令遵守の態度についての講話を位置づけている。また、情報モラルを含めた心を耕す取り組みを継続している。

<社会貢献・地域貢献>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

①課題

- ・教育資源を活かした地域貢献の推進をする。

②今後の改善方策

- ・本校教育資源に対する地域社会の要望を集約する機会を生み出していく。

③特記事項

- ・地域が企画運営する行事等に、学生ボランティアが積極的に関わり貢献している。
- ・地域市街地活性化協議に参画し、地域貢献のための方途を模索し続ける姿勢を大切にしている。

- ・本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、イベントが中止となり、ボランティアへの参加ができないケースが多かった。学生のボランティア参加時間数を半分に減らした。

V 総合的な評価結果

昨年度からの改善により、各取り組み状況については「適切」「ほぼ適切」と評価できる。

今年度は、昨年度に引き続きコロナ禍の状況であるため、様々なストレス等が出現する状況であった。県の指針や保健所の指示に従い運営してきた。学校が、クラスターの拠点とならないよう、配慮してきた。また、学生面談等を行う中で、学生の経済面・精神面の悩みを受け止め、相談しやすい環境づくりに努めてきた。

さくら学園の教育活動の根幹である校訓「誠心」「感謝」を全職員・全学生で大切にし、一人一人の学生に寄り添った、きめ細か^{まごころ}で丁寧な指導により、心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材に成長して卒業している。関係企業・病院・クリニックからも「即戦力となり、必要な存在」と称賛されている。今後も「一人一人としっかり向き合い」学生に合ったきめ細やかな教育に取り組んでいく。

全教職員で、全ての学生（留学生を含む）に誠実に対応し、学生自身が自ら考え行動できるよう教育環境を整え、評価結果を真摯に受け止め、時代のニーズに応える職業教育の充実を継続していく。

学校法人 さくら学園

慈恵歯科医療ファッション専門学校